

みずほCustomer Desk Report 2021/11/19号(As of 2021/11/18)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.18
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	114.20	1.1318	129.28	1.3490	0.7268
SYD-NY High	114.48	1.1374	129.94	1.3514	0.7292
SYD-NY Low	113.88	1.1314	129.09	1.3464	0.7250
NY 5:00 PM	114.26	1.1374	129.90	1.3501	0.7276
NY DOW	35,870.95	▲ 60.10	日本2年債	-0.1200	1.00bp
NASDAQ	15,993.71	72.14	日本10年債	0.0800	1.00bp
S&P	4,704.54	15.87	米国2年債	0.5011	0.42bp
日経平均	29,598.66	▲ 89.67	米国5年債	1.2180	▲1.06bp
TOPIX	2,035.52	▲ 2.82	米国10年債	1.5864	0.18bp
シカゴ日経先物	29,625.00	55.00	独10年債	-0.2835	▲3.80bp
ロンドンFT	7,255.96	▲ 35.24	英10年債	0.9210	▲4.10bp
DAX	16,221.73	▲ 29.40	豪10年債	1.7980	▲5.70bp
ハンセン指数	25,319.72	▲ 330.36	USDJPY 1M Vol	6.88	▲0.28%
上海総合	3,520.71	▲ 16.66	USDJPY 3M Vol	6.90	▲0.03%
NY金	1,861.40	▲ 8.80	USDJPY 6M Vol	7.05	0.05%
WTI	78.41	0.86	USDJPY 1M 25RR	-0.12	Yen Call Over
CRB指数	236.363	0.23	EURJPY 3M Vol	6.94	▲0.01%
ドルインデックス	95.54	▲ 0.28	EURJPY 6M Vol	7.40	0.01%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月18日	22:30	米 新規失業保険申請件数	13-Nov 268k	260k
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況	11月 39	24

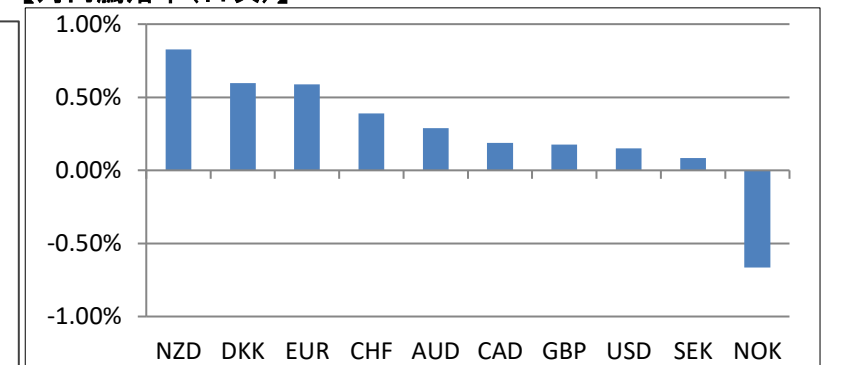
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月19日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	10月 0.2%/0.1%/-0.7%	0.2%/0.1%/-0.5%
	22:30	加 小売売上高(前月比)	9月 -1.7%	2.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.90-114.50	1.1330-1.1400	129.00-130.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は114円前半でもみ合いとなった。日中は昼前に114円ちょうどを割れる場面も見られたものの、総じて114円ちょうどを下値に小動き。海外時間に入ると、フィラデルフィア連銀景況指数が大幅な伸びとなり米金利が上昇すると、ドル円も114円半ばまで上昇。その後は買いが続かず114円前半まで戻して引けた。本日のドル円は引き続き114円ちょうどを下値にレンジ内での推移を予想。米インフレ率の高止まりや、資源価格のボラタイルな動きはあるものの、米株式はじり高となり最高値水準で取引されている。ドル円もしばらくは安定的な動きとなりそうだ。一方で、来週の感謝祭を迎えるといよいよ年末に向けて休暇シーズンとなることから、ポジション調整などの急な動きには留意したい。

東京	東京時間のドル円は114.20レベルでオープン。日本株の軟調な展開にリスクオフの円買いが進んだことや、原油価格の下落により資源国通貨が売られたこともあり、ドル円は下落。114円台を割り込むと113.88をつけた。午後に入り、日本株がマイナス幅を縮小させると、ドル円も値を戻し114円台を回復。結局、114.22レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は114.22レベルでオープンし、新規材料に欠けるなか、レンジ内の値動き。114.18レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	戦略石油備蓄放出の思惑にドルの上値が重い中、リスク回避の動きが強まり海外市場でドル円は113.88まで下落する局面もあったが、その後はクロス円の上昇に下値をサポートされ114.18レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想範囲内の結果となる一方、同時に発表された11月フィラデルフィア連銀景況指数が1979年から2番目の伸びとなり、続いて発表の10月先行指数が予想を上回ったこともあり114.48まで戻す。米銀大手数行がFedの利上げ時期を前倒ししていると伝わる一方、米長期金利が低下に転じる展開に、ドル円は114.16まで反落する。その後マンチン民主党上院議員がパウエル議長の継続に好意的とのヘッドラインが伝わり、ハト派で知られるエバンズ・シカゴ連銀総裁が2022年の金融政策の調整を受け入れる用意があることを発言したが、ドル円の反応は限定的となり、狭いレンジでの推移が続き114.26レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場で1.1314まで下落するものの、その後はドル売りやユーロ円の買いに下値を切り上げ1.1340レベルでNYオープン。朝方はフィラデルフィア連銀景況指数結果を受けたドル買いに1.1327まで下落するが、その後は米長期金利が上昇しないことからドル売りが優勢となり1.1374まで戻す。午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1374レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。